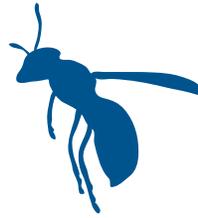


暑い夏だからこそ要注意 Part 1

ツマアカスズメバチ



夏・秋の
危険生物

【特徴】

- ◆体は全体的に黒っぽく腹部の先端がオレンジ色です。
大きさは、女王バチ30mm、オスバチ24mm、働きバチ20mm前後です。
- ◆樹木の高い位置に営巣することが多いのが特徴。
在来のスズメバチより大きな巣を作ります。
- ◆在来のスズメバチ同様、人への刺傷被害があります。

【刺された際の対処】

- ◆すぐに毒液をしぼり出し、刺された部分を水で洗った後、
氷などで冷やす。
- ◆身体に異常（腫れる、じん麻疹、めまいなど）を感じた時は、
医療機関を受診する。
- ◆呼吸が苦しかったり、意識がなかったりした時は、一刻を争うので
救急車を呼ぶ。

【駆除への補助金】

- ◆桂川町では、専門業者によるスズメバチの駆除にかかる費用の一部を補助しています。
※補助金の交付額は、駆除1件あたりの駆除に要した費用とし、1万円を限度としています。
なお、補助金を受けるには、いくつかの要件があります。希望者は駆除前に生活環境係へ
お問い合わせください。



ゴケグモ



【問合せ先】

保険環境課 生活環境係 ☎65・1097

【特徴】

- セアカゴケグモ……成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条がある。
- ハイイロゴケグモ…成熟した雌の体長は、約0.7～1cm。ハイイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として斑紋を有するものなど変異が多い。

- ◆日本では6～10月にセアカゴケグモの咬傷例が報告されており、
ほとんど軽傷ですが重症化する場合があります。
- ◆咬まれると、痛みやかゆみ、区域リンパ節が腫れたりします。

【咬まれた際の対処】

- ◆速やかに医療機関を受診してください。受診の際は、クモの種類が
わかるように、できれば殺したクモを持参してください。

